

しあわせの村宿泊体験合宿に参加して—学生の皆さんの感想—

今回、昨年につき二度目のしあわせの村宿泊合宿に参加させていただいた。昨年は、なかなか色々な人と関わることが出来なかった。その為、今回は全員と関わることを一つの目標にしていた。今回は参加していた方々全員と関わることが出来たので良かった。参加し、どのようにお手伝いをさせていただければよいのかということの一つ一つ聞くことが、大切だと感じた。学生がヘルパーではなく、ボランティアとして関わらせていただくことは、非常に貴重な経験である。今回学ばせていただいたことを、違う場においても活かしていきたい。

神戸学院大学 社会リハ 4回生 M. H

先月はしあわせの村のボランティアに参加させていただきありがとうございました。とても楽しく、多くの経験をすることができました。

神戸学院大学 社会リハ 4回生 R. N

今回、しあわせの村合宿に初めて参加させていただきありがとうございました。途中参加ではありましたが、とても楽しく過ごすことができました。

最初はどのようによいか戸惑いながらでしたが、みなさんととても優しく、なんでも言ってくださるので、あまり困ることもなく、居心地の良い空間でした。また、普段は重度障害の方と関わることがないので、今回参加させていただいたことで、いろいろと学ぶ良い機会にもなりました。まだまだ介護技術もなく、微力ではありますが、またこういった機会がありましたら、積極的に参加していきたいと考えておりますので、ぜひよろしくお祈いします。

神戸学院大学 社会リハ 3回生 S. M

今回の活動から頸髄損傷の人の中でも、できることの違いがあることが学べた。これまで関わってきた頸髄損傷者の方で、自分の力で立って歩く人はであったことがなかった。そんなことができる人はいないと考えていたが、今回それができる人に出会って衝撃を受けた。日常生活動作もほとんど自立しており、介助が必要ないような状態であった。

新しい発見、新しい人との出会いができて非常にいい体験ができた。これから論文の作成が始まるが、この経験を通して得た知識を活かして取り組んでいきたい。

神戸学院大学 社会リハ 3回生 S. M